

事務事業マネジメントシート（21年度実績と22年度計画）

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 26 日 作成
21年度決算把握後 平成 22 年 5 月 21 日 作成

事務事業名		ごみステーション設置助成事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政 策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり			所属部	市民部	課長名	上山 幸顕
	施 策	6	計画的な土地利用の推進			所属課	環境衛生課	担当者名	田中 奏子
	基本事業	16	快適な住環境の整備			所属班	環境衛生班	(内線)	1144
予算科目		会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	成果優先度評価結果	1
		1	4	2	1	11473		コスト削減優先度評価結果	12
終了、開始年度		☐ 21年度で終了 ☐ 22年度から開始		事業期間		☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返(開始年度 H11 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)			

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	犬・猫・カラス等がごみ袋を食い破ったり、ごみが散乱して困るという苦情が寄せられ、ごみ一時保管所(ごみステーション)の整備には費用も掛かるので、ステーションの管理をしている地元の負担を軽減するために平成11年度から実施している。補助金の額は1箇所のごみステーションへの整備に要する経費の1/2(補助限度額は50,000円)。市民からごみステーションに対する苦情は少なくなっている。(ごみステーションの清潔保持がしやすくなった)
【業務の流れ】	事前協議、補助金交付申請受付、審査、交付決定通知、請求書受理、支払事務
【主な予算費目】	負担金補助及び交付金(補助金)、役務費
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	市民(行政区)から、上限額を50,000円より上て欲しいとの要望がある。 収集業者から、犬・猫・カラス等によりごみ袋が食い破られて散乱しているとの通報がある。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動)(DO)

各ごみステーション管理者が設置するごみステーションに対して、整備費用の1/2を補助した(限度額 50,000円)
補助件数 15箇所

22年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)

各ごみステーション管理者が設置するごみステーションに対して、整備費用の1/2を補助する(限度額 50,000円)
補助予定件数 45箇所

④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標

⇒ア 申請書受理件数

(単位)

件

⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標

(単位)

⇒ア 人口

人

② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等

市民

⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標

(単位)

⇒ア 助成を受けたステーション数

箇所

③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)

市民がごみステーションの管理をしやすくなる

*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠

不衛生を招き地域の住環境に影響を及ぼすことから区がごみステーションの整備に要する費用の一部を補助することで意図の市民がステーションの管理をしやすくなるに繋がり、成果指標を「助成を受けたステーションの数」とし、設置希望調査により「45箇所」と設定した。

(2) 各指標・総事業費の推移

	単位	19年度 実績(決算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	21年度 実績(決算)	22年度 目標(当初予算)	23年度 予定	24年度 見込
④ 活動指標	ア 件	13	15	10	15	45	40	30
⑤ 対象指標	ア 人	54047	54407	54800	54856	55300	55750	56210
⑥ 成果指標	ア 箇所	13	17	10	15	45	40	30
投資 入 量	国庫支出金	千円						
	都道府県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	繰入金	千円						
	一般財源	千円	601	615	501	588	2,253	2,003
	(A) 事業費計	千円	601	615	501	588	2,253	2,003
	(A)のうち指定経費	千円						
	(A)のうち時間外、特勤	千円						
	正規職員従事人数	人	1	4	4	6	6	6
人 件 費	延べ業務時間	時間	60	184	196	192	300	290
	(B)人件費計	千円	238	736	780	764	1,194	1,154
	トータルコスト(A)+(B)	千円	839	1,351	1,281	1,352	3,447	3,157

総トータルコスト
全体計画
～ 年度

(期間限定複数年度のみ記載)
0
0
0

合志市

事務事業名	ごみステーション設置助成事業	所属部	市民部	所属課	環境衛生課
-------	----------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部 (SEE)
*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【理由】
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	☒ 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 設置希望調査によるものであり目標達成は見込まれる。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 全ステーションの整備が終わっていない。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ☒ 他に手段がない ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業なし。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 事業費が補助金の交付のみである。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	☒ 削減余地がある ⇒【理由】 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】 随時受付けている補助金の申請を受付期間を設定することにより削減可能である。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 全区が対象であり公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 事業費が補助金の交付のみであり適正である。

3 評価結果の総括(SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

21年度は15箇所のごみステーション設置に関する補助を行った。 現在は予算編成時期までに協議があった分を、翌年度に予算措置し助成事業を実施しているが、協議もなく申請されるケースがあるので、周知徹底を図る。また計画的な予算措置に努める。
--

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☒ 事業のやり方改善(有効性改善) ☒ 事業のやり方改善(効率性改善) ☐ 事業のやり方改善(公平性改善) ☐ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 現在は予算編成時期までに協議があった分を、翌年度に予算措置し助成事業を実施しているが、協議もなく申請されるケースがあるので、周知徹底を図る。また計画的な予算措置に努める。 全ステーションの整備が必要だと考えるが、道路際やスペースの確保が厳しい箇所もあり、また地元負担も生じるので、全ステーションの整備は厳しい。																					
(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td></td><td>△</td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td></td><td>△</td></tr></table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			○	維持			△	低下			△
			コスト																		
		削減	維持	増加																	
成果	向上			○																	
	維持			△																	
	低下			△																	
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 22年度より予算編成時期までに設置希望調査を実施し、翌年度に予算措置するようにした。 協議もなく申請されるケースがあるので更に周知徹底を図る。																					